日本共産党久喜市議団　No.27
市議団ニュース
2011年　7月31日号
連絡先
木村奉憲 22−8567、杉野　修 58−9010
石田利春 52−7260、渡辺昌代 21−9058

水道事業運営審議会、料金値上げの答申する！

平均改定率7.1％の値上げ　9月議会提案予定　議会の責任は重大！

7月7日、水道事業運営審議会は市長から諮問された『水道ビジョンと合併後の水道料金統一』に対する答申を田中市長に提出しました。

その内容は市民の期待に反し、「今でも高い水道料金」をさらに値上げするもの（全県で2位）であり、負担増によって住民の暮らしを圧迫することになります。

改正案は9月議会に提案される予定です。「水道ビジョン」が値上げを求めてまでも推進する妥当性があるのか、又、旧久喜市に合わせた場合でも、平成26年度の現金残高は24億8千万が見込まれています。それにもかかわらず値上げをする必要性があるのかなど、提案される議案に議会はどのような答えを出すのか、責任は重大です。市民の熱い視線が議会に向けられています。

日本共産党市議団は、もしも答申の内容のまま9月議会に提案されれば、大幅な負担増によって住民の暮らしをさらに圧迫することになり、許すことはできません。

旧栗橋町の平成２１年度施設利用率は46.15%
写真は久喜市佐間浄水場　(栗橋地区)

各地で国民平和大行進行われる

7月16日　核兵器廃絶を掲げての平和行進

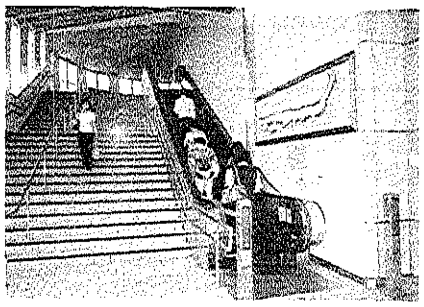
2011年の夏、被ばくから６６年目を迎えます。久喜市内を７月１３日から１６日にかけ平和行進が取り組まれました。今年は原発事故による放射能汚染がひろがる中、核エネルギーの非人道性を訴え、核兵器も原発もゼロにと訴えての行進です。

久喜市役所では副市長と議長から激励とともに募金が寄せられ、鷲宮地域、栗橋地域では副支所長より激励をいただき、ヒロシマ・ナガサキに向け、猛暑の中元気に行進しました。

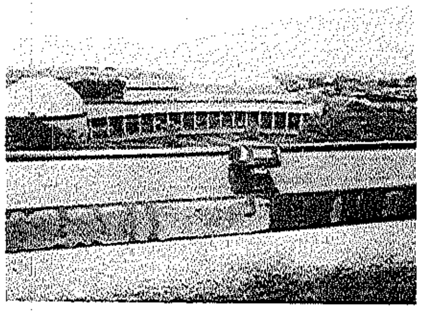
栃木コースからの行進が埼玉に引き継がれました。(栗橋にて)

党市議団の申し入れを受け市の改善進む

土壌中の放射線量調査の実施やエスカレーターの再開



動き出したエスカレーター



庁舎屋上で測定中の機器

日本共産党久喜市議団が一般質問で取り上げ、また、6月30日に申し入れた東日本大震災救援へ第2回目の申し入れ書に対し、次のような改善と新たな取り組みがありました。

放射能汚染での土壌調査では、7月12日に小学校・中学校、幼稚園・保育園など15箇所で採取、測定は深さ5cmの土5箇所から採取、それを混合し分析しています。

また、焼却施設での焼却灰とばいじんの測定についてもホームページで公表しています。灰は久喜・宮代衛生組合で、セシウム137、134が合計1090ベクレル(kg)ばいじん(飛灰)が6700ベクレル(kg)です。今後の動きに注視する必要があります。

久喜駅・栗橋駅の自由通路にあるエスカレーターが停止していました。再稼動を求める利用者の要望を申し入れ、現在は終日稼動となっています。

南栗橋液状化被災

被災認定「全壊」が９世帯
国の被災者生活再建支援法適用へ

久喜市は７月７日、南栗橋地域で被災の再調査を進めた結果全壊が９世帯あり、国の支援制度が適用となると発表しました。最大３００万円の支援となります。

しかし、まだ埼玉県の支援は何も示されていません。復興には地盤整備と家屋修復など二重の再建費用がかかり一千万円は必要です。しかも一度修復すると、再度の修復は難しく、今後液状化が起きない保障もありません。今後の公的支援として次の４点が重要ではないでしょうか。

① 国の公的支援の拡充
② 埼玉県独自の支援実施
③ 久喜市の支援は寄附金の枠にとらわれない支援
④ 国などの支援対象とならない「半壊」の方などへ丁寧な支援

道路修復は進むが、家屋などの修復は進んでいません。再建への支援が待たれる南栗橋地域

土壌中の放射性物質調査結果

測定場所	測定結果 Bq/kg(ベクレル毎キログラム) セシウム134	セシウム137
市立ひまわり保育園(園庭)	48	50
市立ひまわり保育園(砂場)	48	50
総合運動公園	39	40
青葉公園	68	72
市立本町小学校	47	45
市立清久小学校	65	90
市立菖蒲小学校	33	39
市立栢間小学校	34	40
市立三箇小学校	35	36
私立おばやし保育園	85	94
私立栗橋保育園	45	59
南栗橋近隣公園	110	130
市立栗橋西小学校	120	140
私立鷲宮保育園	25	37
市立桜田小学校	35	32
鷲宮運動広場	71	78